

①強い東北の創造

産業の自立した発展を支えるため、物流の効率化、人と情報の交流・連携を支える社会基盤の整備を進め、「強い東北の創造」を目指す。

国際物流ターミナルの整備や、規格の高い道路とのアクセス向上により物流コストを低減

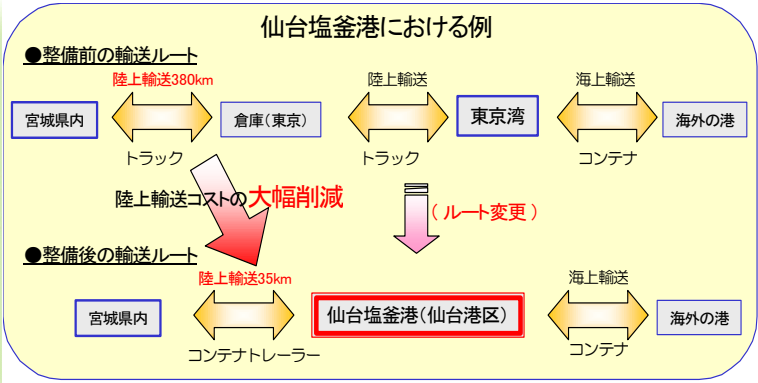
港湾整備と幹線道路のアクセス強化



連結状況	H9末	H14末	長期
連結数	2	5	14
連結率	13%	33%	93%

注) 連結数=IC等から10分以内で連結が可能な港湾数 (H11道路交通センサスに基づく)
対象: 特定重要港湾+重要港湾
資料: 国土交通省

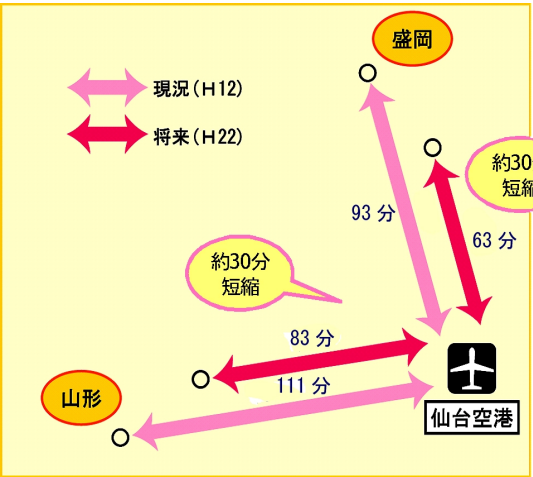
輸送ルートの変更による物流コストの削減



広域交通ネットワークの整備による地域間交流・連携の促進

東北からの国際線の利用が便利に

仙台空港へのアクセス時間を短縮
<電車利用> (将来: 仙台空港線利用)



- 広域的交流・連携構想
- 青函インターロック交流圏構想
- 北東北広域連携構想
- 岩手・秋田地域連携軸構想
- 宮城・山形地域連携軸構想
- 南東北中枢広域都市圏構想
- 21世紀FIT構想



凡 例

高規格幹線道路:	供用・未供用
地域高規格道路等:	供用・未供用
新幹線 (営業中):	供用・未供用
新幹線 (建設中):
新幹線 (計画中):	-----
空港:	✈

(平成 14 年度末)

②安全で安心できる地域づくり

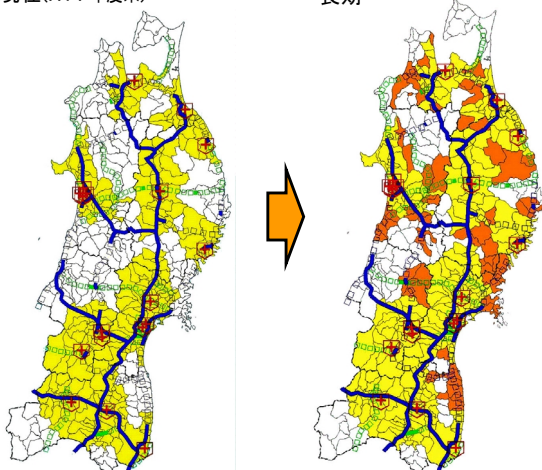
あらゆる災害や豪雪に対応した施設整備とソフト対策の推進、ユニバーサルデザインの導入などにより、誰もが快適で暮らしやすい「安全で安心できる地域づくり」を目指す。

命の助かる人を増やす

	現在	将来
カバー人口 [※]	730万人(75%)	約870万人(約90%)

現在(H14年度末)

長期



高次救急医療施設	60分カバー圏	高規格幹線道路 供用区間 その他区間	※カバー人口: 高次緊急医療施設へ1時間以内で行くことの出来る人口
道路整備により拡大するカバー圏	地域高規格道路	地域高規格道路 供用区間 その他区間	※高次緊急医療施設: 高度な治療施設・技術を持つ病院
			※道路網図 平成14年度末現在

津波から住民の生命と財産を守る



釜石港 湾口防波堤

洪水の被害を軽減し、安心できる地域へ

平成10年8月 洪水



福島水位観測所 (最高水位:m)	規模
H10 5.43	戦後2番目
H14 5.27	戦後3番目

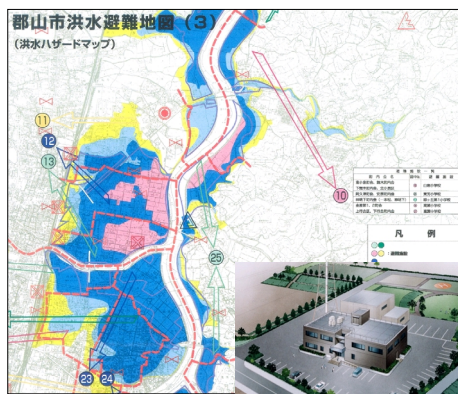
平成14年7月 台風6号洪水



阿武隈川平成の大改修の効果
浸水面積(ha): 1,846 957
浸水戸数(戸): 1,917 895

災害に対する不安を軽減

河川防災ステーションの整備を進めると共に、ハザードマップなどのソフト対策も行う。



洪水ハザードマップ

郡山河川防災ステーション

危ない通学路を安全で快適に

消流雪事業や歩道の整備により、安全な歩道を確保



歩道が雪で埋まり、危険な車道を歩く子供達



歩道を安全にし、生活環境の改善を図る。

暮らしやすい生活環境を確保

ユニバーサルデザインの導入やバリアフリー化により利用しやすい施設整備を進める。



鉄道駅のバリアフリー化(JR 仙台駅)

魅力ある都市づくり

自然や環境との共生、職住近接、土地利用の高度化などにより、効率的で持続可能な都市を形成するとともに、歴史や文化を活かした個性を持つ「魅力ある都市づくり」を目指す。

街なか居住により、各種施設を利用しやすく



市街地再開発事業 : いわき市平一丁目

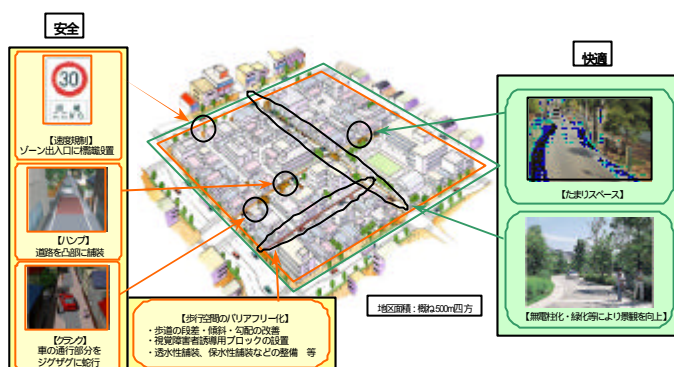
- ・ 通勤時間が短くなります。
- ・ 病院、図書館などが利用しやすくなります。
- ・ バス、鉄道などが利用しやすくなります。
- ・ 街のにぎわいが楽しめます。

安全で快適な人優先のみちへ再生

歩行者優先の「暮らしのみちゾーン」を形成。
公安委員会と連携し

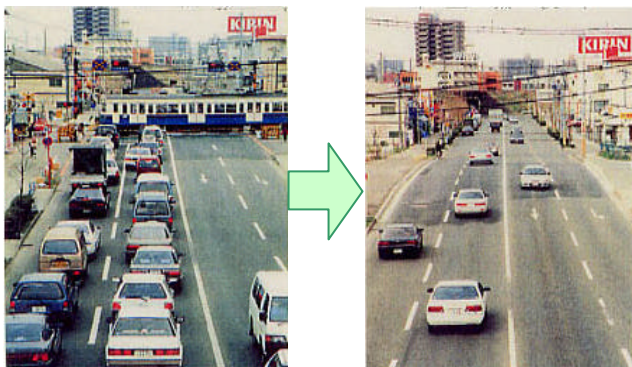
- ・ 事故危険箇所の集中的対策
- ・ 「あんしん歩行エリア」を整備

「暮らしのみちゾーン」のイメージ



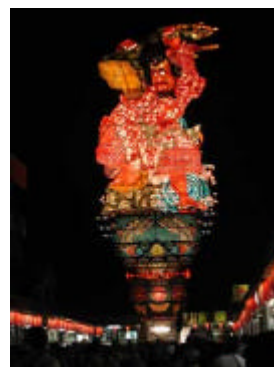
開かずの踏切を解消し、円滑な交通を確保

【事例(JR 仙石線連続立体交差)】



電柱類の地中化で祭りを支援

【事例 立佞武多(たちねぶた)、青森県五所川原市】



高さ2.0mを超える
巨大「ねぶた」がまちを移動

- ・ 電線が障害となり
大正のはじめに祭りは消滅

- ・ しかし、電線類の地中化など
により祭りが復活

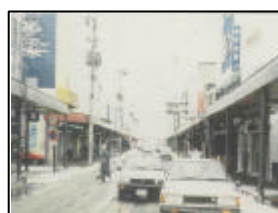
鉄道整備による都市交通の発展

【事例(JR 仙石線 小鶴新田駅)】



新駅の整備

電線類地中化前後の様子



【整備前】



【整備後】

④美しい東北の実現

循環型社会を構築するとともに、美しい山河、豊かな自然、独特な文化を適切に保全し、観光等に有効活用し、周辺環境と調和のとれた「美しい東北の実現」を目指す。

環境配慮型官庁施設(グリーン庁舎)の整備

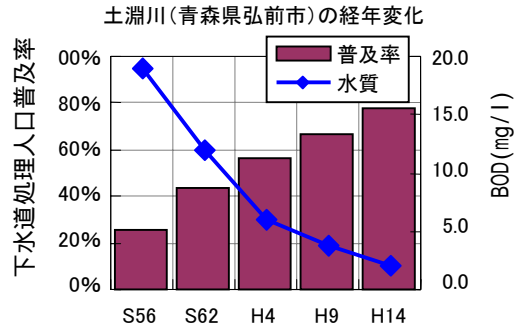
グリーン庁舎の5つの柱

- ・周辺環境への配慮
- ・省エネ、省資源
- ・長寿命
- ・エコマテリアル
- ・建設副産物の再利用と適正処理



東北地方における初めてのグリーン庁舎(本荘地方合同庁舎外観図)

川の水を美しく

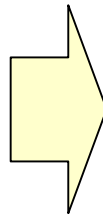


下水道の整備を行い、河川の水質を改善する。
BOD: 水の汚濁状態を表す指標の一つ(生物化学的酸素要求量)

川の流れをよみがえらせる



最上川水系寒河江川
(寒河江ダム直下流)



魚類等の生息環境の保全等、健全な水循環系の構築を図る。



周辺環境との調和

優れた景観地区等へ景観に配慮した防護柵を整備



循環型社会構築に資する静脈物流拠点の整備

●リサイクル産業の展開に対応した広域的な静脈物流の拠点の形成に、官民が連携して取り組む。

